

10月19日(月曜日)「主の祈り(5)」

【新改訳 2017】

ルカ 11.3

「私たちの日ごとの糧を毎日お与えください。」

マタイ 6.11

「私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。」

主の祈りは、極めて簡素、明瞭な表現です。しかし、内容は深いものがあります。この第四の願いもそうです。

主は、ここでも「私たち」意識を明らかにしておられます。信仰は、個人の神との問題であるとよく言われますが、気をつけなければなりません。

また、神を知らせていただき、生かされている者であることを悟る時、人生は「日ごと」「きょう」「毎日」という意識がとても大切であることがわかります。内村鑑三は、「一日一生」と言いましたが、同じ思いでしょう。さらに、糧(直訳「パン」)は、食物をはじめ、生活のすべての必要を含みます。それらは、クリスチャンのみならず、すべての人に与えられている自然や一般の恩恵でもありますが、本来、神から与えられているものなので

す。ですから、心から感謝しつつ祈るのです。

～祈り～

主よ。日ごとの糧をお与えくださり、心から感謝いたします。衣食住、そして、生活のすべての面で与えられているものを感謝いたします。

【学びのために】。

ルター「たしかに、神は、毎日の食物を、われわれの祈りがなくても、すべての悪人にさえ、与えてくださいます。しかし、われわれはこの祈りにおいて、神がわれわれに、このことを知らせ、感謝をもって、毎日の食物を受けようとしてくださることを祈るのです。」